

せいけん
詩集

第五十五篇

作：近藤せいけん

「源」
みなもと

すべてのものに みなもとがある

それを総称して 宇宙と呼ぶ

宇宙は無限 限りないもの 永久にあるもの

我々の想像を はるかに超えているもの

「私は人生は 一世代を旅する 旅人と思う

宇宙からきて また宇宙に帰る 旅人」

「私は全ての みなもとを 魂のふるさと 呼ぶ」

「そこから来ていろんな経験 体験

出来事を通じて生き また帰る旅

それが 人生だと思う」

「偉大なる宇宙 魂の旅路を人生と私は呼ぶ」